

年度経営計画(平成28年度)

1. 経営方針

(1) 業務環境

1) 兵庫県の景気動向

平成27年度の兵庫県の景気は、一部に弱い動きが見られたものの、日本銀行による金融緩和の継続や政府の各種政策効果により、雇用環境は改善し、また原油価格の低下等により交易条件が改善する中で、基調としては緩やかに持ち直しました。一方で、中国経済の減速など海外景気の下振れ懸念等により、先行きに対する不透明感が拭えない状況にあります。

2) 中小企業を取り巻く環境

県下の中小企業・小規模事業者の経営環境は、緩やかな景気の持ち直しが継続する中で、原油価格の低下やインバウンド関連の需要増加効果などにより、一部の業種では改善が見られるものの、地域や企業規模によってはまだら模様となっています。また、先行きに対する不透明感などから、個人消費及び設備投資の回復に遅れが見られます。

(2) 業務運営方針

このような状況のもと、公的機関として地域経済の発展に貢献するため、金融機関や関係機関との連携強化に努めるとともに、中小企業・小規模事業者の多様な資金ニーズに的確に対応する必要があります。

また、経営課題を抱える中小企業・小規模事業者に対し、有益な情報やサービスを提供し、経営改善への取組を後押ししていくことが求められます。特に、金融機関の目が行き届きにくい小規模事業者などには、協会が主体となり積極的な働きかけを行ってまいります。

さらに、責任共有制度のあり方等信用補完制度の見直しが予定されていることや、マイナス金利政策の導入により金融機関の保証利用にかかる態度が慎重になる可能性があるなど、変化する環境下においても、情報収集を適切に行い、信用保証協会の役割を今まで以上に果たしていく必要があります。

これらを踏まえ、平成 28 年度における業務運営方針を以下 1) ～ 4) のとおりとしました。

- 1) 中小企業・小規模事業者における金融の円滑化並びに事業の成長・発展に寄与するため、自治体融資制度の利用推進や協会独自の保証推進策を講じ、保証利用企業者数の増加に取り組めます。
- 2) 様々な経営課題を抱える中小企業・小規模事業者に対し、経営改善を後押しする支援を強化します。
- 3) 求償権の回収については、個々の実情に応じて、適切かつ効果的な回収策を講じ、回収を最大化します。
- 4) 信用補完制度の見直し等変化する環境下においても中小企業・小規模事業者への顧客満足度の高いサービスを提供できるよう、高度・専門的な能力を備えた人材育成を図る等環境の変化に柔軟に対応してまいります。

2. 重点課題

【保証部門】

- 1) 保証利用度の向上
- 2) 提案機能の充実
- 3) 保証業務の効率化

【期中管理部門】

- 1) 金融機関等関係機関との連携強化
- 2) 保証利用企業に対するモニタリングとフォローアップの充実
- 3) 小規模事業者を含むより幅広い保証利用企業に対する期中支援の展開
- 4) 外部専門家派遣等による企業診断、経営改善計画策定支援
- 5) 返済緩和中の保証利用企業等に対する正常化の推進

【回収部門】

- 1) 回収促進へ向けた取組の実施
- 2) 効率的・効果的な回収方策の推進

【その他間接部門】

- 1) 顧客満足度の向上
- 2) 人材育成
- 3) 組織の活性化
- 4) コンプライアンス態勢の充実、強化
- 5) 危機管理態勢の強化

3. 主要業務数値の計画

平成28年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は以下のとおりです

項目	金額	前年度計画比
保証承諾	3,500億円	102.9%
保証債務残高	1兆300億円	98.1%
代位弁済	198億円	88.8%
回収	81億円	98.8%